

すみだ区議会

# 自由民主党会派報

発行  
 墨田区議会自由民主党  
 墨田区吾妻橋1-23-20  
 発行責任者 沖山 仁  
<http://jimin-sumida.jp/>  
 墨田区議会自由民主党のホームページを  
 リニューアル致しました。  
 ご意見・ご要望をお待ちしております。

## 葛飾北斎

(1760～1849)は、江戸本所割下水(現墨田区)に生まれ、幼少より享年90歳まで、絵師として労苦を重ね、森羅万象を描きました。墨田区では、その偉業を後世に伝えるため「北斎館」の建設を予定しています。



「富嶽三十六景」墨田区所有より複製

が建設地周辺を訪れています。区への注目度が高まってきたこともあってか、区の人口は7月に25万人を超えました。

さて、迎えた本年は、春に東京スカイツリーが自立式電波塔として世界一の高さ634メートルに達する予定です。国際観光都市すみだの実現に向けた計画を着実に推進するとともに、経済・雇用対策等に取り組み、さらなる地域の賑わいや活性化を図っていかねばなりません。

わたしたち区議会は、議会の役割を十分認識し、より公正で開かれた議会運営に努め、墨田区が明日に夢と希望を抱けるまちとなるよう、全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとって、より良い年となりますよう、心より願っております。



墨田区議会議長  
**木内 清**

新春を迎え、区民の皆様のご健勝とご多幸をお慶び申し上げます。また、新成人となられた皆様からお祝いを申し上げます。

昨年は建設中の東京スカイツリーの高さが500メートルを超え、いよいよその姿が都内各地から眺められるようになりました。これにより、予想を超える多くの方々

墨田区議会自由民主党は、未来を見据えた区政はどうあるべきかをしっかりと検討し、時には、大胆な決断をもって前進しなければならぬと考えています。昨年の墨田区基本計画改定中の七月に、本区の人口が25万人台に回復し、また、日一日と成長していく東京スカイツリーの人気も想像以上のものがあります。これらを活性化の起爆剤として、墨田区全体の経済効果につなげ、魅力ある墨田づくりに取り組んでいかねばなりません。

本年も、わが会派の全議員が、区民お一人おひとりの目線に立った、きめ細かな施策を実現するため、区議会最大会派としての責務を果たしてまいります。なお一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



墨田区議会自由民主党幹事長  
**沖山 仁**

あけましておめでとございます。皆様におかれましては、お健やかで幸せに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、私も墨田区議会自由民主党に対し、ご理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。

国においては、政権交代以来、予算の削減や事業見直しなど財政状況の不透明さが続き、依然として景気の後退や雇用情勢の厳しさが増してきておりますが、区の財政運営においても、区税収入の落ち込みに加え、特別区交付金などの大幅削減が予測され、大変厳しいものがあります。高齢化の進展に伴う扶助費の増加、国が考えている子ども手当への財源、老朽化した区有施設の改築などを考えただけでも、本区の財政負担にどのような影響を及ぼすか注視するところであり、なお一層の財源確保と行財政改革が必要であります。

## 年頭のごあいさつ

# 平成23年度 わが会派の予算要望



来年度の予算編成にあたり、墨田区議会自由民主党は、山崎区長に対し次のような予算要望をいたしました。

## 「予算要望」

23年度予算は精度の高い区民サービスに直結した編成が求められます。東京スカイツリー開業まで一年となり、人口25万人の都市として区民満足度を高めていかなければなりません。また、山積する課題を解決し、財政健全化を図るという目標を達成させる事も重要です。

この時期にあたり、私ども「墨田区議会自由民主党」は、予算編成に際しての要望を提出致します。

我が会派の意見・提言を十分に斟酌のうえ、平成23年度予算編成にあたられますことを期待いたします。

## 墨田区議会自由民主党

- 幹事長 沖山 仁
- 副幹事長 林 恒雄、山本 亨
- 議員 福田はるみ
- 瀧澤良仁、西原文隆
- 中村光雄、坂下 修
- 木内 清、出羽邦夫
- 田中邦友、樋口敏郎
- あそ(あき)

## 重点要望

- 1 行財政改革のさらなる推進
- 2 財源の確保

- ・区民税、国民健康保険料や使用料等の徴収努力、収納率向上
- ・まちづくり交付金の確保、受益者負担の適正化の推進
- ・都区財政調整における確実な財源確保

- 3 東武伊勢崎線立体化の早期実現
- 4 新タワー・観光まちづくりの整備促進

- 5 区内循環バスの事業化の準備と運行計画の策定
- 6 やさしい街すみだとして、総合的な高齢者、障害者対策の充実
- 7 統合新図書館の建設促進・運営計画等の策定
- 8 子育て支援施策の強化

- 9 四年生大学の誘致促進
- 10 すみだ総合保健センター建設検討
- 11 統合学校跡地の計画的活用
- 12 中小企業への景気対策、支援の強化
- 13 タワー関連企業からの区に対する地域貢献等の充実
- 14 「すみだ環境宣言」後の事業・施設等の着実な推進

## まちづくり

- ・景観まちづくりの推進
- ・住宅マスタープランの策定
- ・コミュニティ住宅の空き住戸対策
- ・京成押上線立体化事業の推進
- ・タワービューストリートの整備促進
- ・京島地区まちづくり事業の推進
- ・曳舟駅周辺地区整備事業の推進
- ・鐘ヶ淵周辺地区防災都市づくり事業の推進
- ・不燃化促進事業の拡充
- ・建築物耐震改修等支援事業の拡充
- ・分譲マンション管理組合事業等支援事業
- ・自転車駐車場整備事業(押上駅前等)
- ・観光拠点としての吾妻橋防災船着場の整備(水上バスの発着)
- ・北十間川水辺整備事業
- ・大横川親水公園歩行者空間再整備事業
- ・公園出入口バリアフリー整備事業の推進
- ・地域プラザ事業の推進
- ・きれいなトイレの増設整備

- ・旧平和荘跡地早期事業化促進
- ・日本所警察署跡地の地域につながる開発促進

- ・各消防団格納庫の建設助成促進
- ・地域防災リーダーの育成・増員
- ・地域安全マップ拡充
- ・地震対策の強化

- ・すみだブランドの強化及び継続的な推進
- ・新規創業支援の促進
- ・区商連の法人化と新カードシステム運用
- ・商業活性化プログラムの着実な推進
- ・産業観光に向けた3M運動の拡充
- ・産学官連携新製品開発支援
- ・商工業融資の充実
- ・雇用促進・就労支援の推進、シニア人材の育成・活用
- ・早稲田大学及び他の大学等との連携強化

- ・健康寿命の延伸(健康づくり推進と推進リーダーの養成)
- ・食育の推進
- ・区民健康診断のカルテ有効活用
- ・生活習慣病(糖尿病等)対策
- ・がん検診の受診率向上
- ・新型インフルエンザ対策強化
- ・子宮頸がん・小児用肺炎球菌ワクチン接種助成
- ・かかりつけ医と病院との連携強化

- ・総合体育館の質の高い区民サービス提供と体育館を核とした生涯スポーツ振興計画の策定
- ・小1・中1の少人数教育の実践
- ・小中学校トイレ洋式化事業の促進
- ・区立学校適正配置の推進
- ・小中学校の学力向上施策の充実
- ・私立幼稚園等の園児の保護者に対する支援の拡充
- ・いきいきスクール施策の充実
- ・幼小中一貫教育の推進

- ・小中学校の校庭の芝生化の推進
- ・屋外体育施設の充実
- ・体育協会への支援強化
- ・学校校庭の夜間照明設置
- ・小中学校の英語教育の充実
- ・特別支援学級の増設
- ・校舎・屋内体育場の耐震化促進

- ・知的障害者就労支援施設の整備促進(旧日本所授産場)
- ・老朽児童館等の整備計画の策定
- ・グループホーム・ケアホームの整備促進
- ・地域包括支援センターの業務充実
- ・認知症対策の充実
- ・厚生会館の改築の検討
- ・認証保育園保護者の負担軽減強化
- ・在宅介護、在宅医療の充実
- ・第5期介護保険事業計画策定に向け保険料軽減策の検討とサービスの充実
- ・シルバー人材センター事業拡大・支援
- ・高齢者、生活弱者への総合的支援(各担当部間の連携強化)
- ・障害者支援の充実、介護、福祉事業者の指導育成

- ・墨田区観光協会との連携強化
- ・すみだ北斎美術館事業内容等の検討
- ・案内機能の整備促進
- ・観光プラザの整備事業計画策定

- ・集団回収支援事業の充実
- ・資源持ち去り対策強化
- ・ヒートアイランド対策の推進
- ・地球温暖化対策への助成強化
- ・緑化事業の推進

- ・庁舎リフレッシュ計画の推進(観光の画)
- ・ガバナンス条例の確実な運用
- ・自転車のマナー広報強化
- ・路上喫煙等防止対策実施
- ・NPO活動等への支援
- ・国際友好交流促進
- ・外部評価委員会の有効な活用
- ・地域猫対策の啓発

## 押上駅前駐輪場整備問題で大激論!!

### 補正予算は継続審査に

◆第4回定例会での産業都市・企画総務各委員会で、二千六百台を収容できる押上駅前駐輪場の整備と補正予算について審議が行われましたが、わが会派議員同士が大激論、一つの案件について、これだけ徹しく議論を交わす、まさに区政を思う真剣勝負! 区議会自民党ならではの光景でした。



イメージ

性がある。よって議会スケジュール上、今年最後の定例会中に補正予算を議決してほしい。その上で、土地取得か賃貸かの問題を見極めて駄目なものなら予算執行しなければよいと説明。与党・自民党は、誠に厳しい決断を迫られることになりました。

わが会派は、あまりにも早急で乱暴な議案の上程であり、土地の手立てを見定めてから結論を出すべきであると強く主張。結局、とても稀なケースではあります。補正予算については継続審査。来年に改めて審議することになりました。

国からの補助金「まちづくり交付金」の対象事業となっていない駐輪場の用地(約三千平方メートル)について、区が買うのか? 借りるのか? その売買価格や賃料、屋上の緑化、交渉経費や地域貢献策などすべてが曖昧な状況の中で、来年の契約に向けてその前払金を補正予算に計上したいとする区長は、再開案事業の場合、このような手法によって対応しないと間に合わないケースがあり、駐輪場建設が街開きから六ヶ月も遅れる可能性があります。

# 平成22年第4回定例会での質問概要 (平成22年11月26日~12月10日)

## 代表質問



山本 とおる

### 平成21年度一般会計決算は不認定

**問** まず、先の決算特別委員会、平成21年度一般会計決算について、環境ふれあい館整備事業を取り止めた事による総額約二千八百万円の税金の無駄遣い、行政側のやる気、スピード感の欠如、検討経費三千九百万円を支出した上、踏切解消の検討内容を始め、重要な問題における情報提供が不十分でありオープンな議論が出来ない等を主な理由とし、不認定という墨田区政史上初の大変重たい決断をした。区長の率直な所見を伺う。

**答** 私どもの判断が適切でなかったと重く受け止め、深くお詫びする。今後は、様々な状況変化を的確に捉え、効率性や計画性を念頭に置き職員ともども一丸となって事業の執行に努めていく。

### 平成23年度の本区予算編成にあたって

**問** ①今年度の収支見直しについて

平成23年度の予算編成作業に入る前に、今年度の収支見直しはどのようなものか。現時点において、区の基幹的収入である特別交付金は当初予算計上額を約十五億円下回っており、予算を許さない状況にあると認識しており、歳出面で、契約落選金の執行遅延や光熱水費等の一部費目について保留するなどの抑制策を講じている。各事業についても年間の執行見込額を精査し、余剰が生じた場合には最終予算において基金に積立てるなど、将来の財政需要に備えていきたい。

### ②墨田区基本計画の現行性について

**問** 本年二月、区長は22年から24年の三年間にわたる実施計画を示されたが、その計画では23年度の歳入歳出総額は実に一千二百二十六億九千四百万であり、今年と比較して約百八十六億増となっている。本当にこの予算が組めるのか。ま

た、墨田区政史上最高額の予算となるが、非常に厳しい状況の中でここまで大きく組む必要があるのか。

**答** 23年度は基本計画後期のスタートの年であり、新タワー開業を見据えた各事業の着実な推進や協治によるまちづくり、保育園の待機見解消、学校施設の耐震化、高齢者対策など山積する課題にも適切に取り組むことが求められており、これらに引き充てる財源については多額の起債や基金を充当することになる。厳しい区財政の状況を踏まえ、不要不急の事業については見直しを行うとともに、施策の優先性を吟味し、将来に大きな負担を残さないよう留意していく。

### ③予算編成に取組む姿勢について

**問** 平成23年度は、東京スカイツリーの開業を目前にし、国際観光都市を目指すという重要な年である。区民サービスにさらなる充実させつつ、併せて財政悪化を避けなければならないという課題を抱えているが、区職員全員が知恵をしぼり、精度の高い施策を実行することが必要であり、区民への責任ある予算作成が求められている。山崎区長の予算編成への考えを伺う。

**答** 将来の墨田区のみならず、全国に誇れる重要な年であること認識し、極めて重要な年であること認識し、来年四月に区議・区長選を控えているが、一時も区政の停滞があってはならないと考へ、本格的な予算としての編成にあたりたい。

### 学校跡地の活用について

**問** ①学校跡地への大学誘致で地域の活性化を

広い面積を持たない墨田区にとっ て、学校の跡地を有効に活用することは重要なテーマの一つであり、区民ニーズにあった、区の活性化を実現できる施設を誘致しなければならない。私は、その一つが大学誘致であると考えている。現時点で、地域の理解はどの程度深まっているか。また、二十三区の中で、唯一大学が存在しない本区として、大学誘致は初の取り組みであり、他区の事例を学ぶなど、区側が積極的に努力をすれば興味を示す大学が確実にあると考えるが、公募に際しての反響、今後のスケジュールについて伺う。

**答** 大学の誘致については、現在まで、「墨田区大学誘致基本方針」に基づき、地元の町会長、自治会長、商店街の方々に説明し概ね賛意を頂いたが、一部には問

題点も提起されている。平成20年に大学誘致を発表後、これまで数件の問合せや情報の収集を受けているが、応募する理由としては、誘致予定地が都心に近い、交通の利便性が良いなど学生を集め易い環境が整っていることが挙げられている。現在、公募要綱作成の最終段階にあるが、区議会にも報告したうえで広く公募を開始したいと考えており、全庁挙げての大プロジェクトとして取り組んでいきたい。

### ②鐘ヶ淵中学校跡地を陸上競技場に

**問** 我が会派はかねてより、鐘ヶ淵中学校跡地は陸上競技場の整備に適性を有しており、計画を変更して新たな方針として打ち出すべきであると主張してきた。墨田区基本計画の中間年にあたるこの機会に事業、施策の一部を見直し、区民待望の陸上競技場整備を早期に打ち出すべきである。区長の所見を伺う。

**答** 基本計画では、旧西吾嬭小・旧現舟中跡地を運動広場整備用地として位置づけていたが、この用地を大学誘致の候補地としたことから、今後再検討する必要がある。鐘ヶ淵中学校跡地は、広さや形状、立地条件などを勘案すると運動広場あるいは陸上競技場に適したものと認識しており、十分検討し、できるだけ早く地域に提案していく。

### ③都立東白鬚公園との一体的な活用を

さらに中長期の目標として、隣接する都立東白鬚公園との一体的な活用を図ることも必要である。まず、合宿可能な宿泊施設や簡便な屋内運動場の整備、堤グランド、墨田5丁目運動広場、公園内野球場やテニスコートの管理移管や再整備を図り、すみだ総合運動公園としての機能を持たせ、沢山の子供連れの家族が集う広場、パークベンチやイベントの開催など新たな区民の憩いの場の形成も可能ではないか。また、有事の際には避難場所、防災拠点としての機能向上にも繋がるものと考えているが、区長の見解を伺う。

**答** 公園マスタープラン改定案の中では、震災対応施設の整備として、かまど・ベンチの整備を進めるとしているが、これは一時避難場所としての利用や訓練時の利用にとどまるものと想定している。ご提案は区内の大規模な公園構想であり、都とも連携し対応を検討したい。

**問** ④旧木下小学校跡地を特養老人ホームに  
区内ではいま、八百人近い特別養護老人ホーム待機者がおり、この解消

は急務である。学校跡地の利用に関する実施計画に盛り込まれた旧木下小学校跡地への建設誘導を促進すべきであると考えるが、スローペースで進めたいという考えがある。この跡地は、まちづくり整備用地としての活用にあわせ、特別養護老人ホームの特養解消に向けた活用も含めて検討することになっており、スローペースでの進捗結果や今後の方向性も見定めながら検討したい。

### 観光都市に向けての準備について

**問** 東京スカイツリーの開業まで残り2年と、整備については23年度終了時には予定通り完了し、お客様を万全な状態で迎えなければならないと考えているが、これらの見直し、進捗状況はどうか。また、様々な観光施策の推進のために必要な新規事業を含めた23年度の予算編成をどう考えているか。

**答** 関連事業については来年度予算編成の中で具体化していくが、まずインフラ整備については、開業までに周辺主要道路景観整備として言問通り、桜橋通りの第一工区を完了する。また、北十間川護岸整備、人道橋、南側道路整備と大横川歩行者空間整備、またトイレ整備事業についても完成させたいと考えている。

### 区内循環バスは区が事業主体となる公共交通

通という観点から、万全な運行を図るために開業に先立って運行を開始したい。仮称「観光プラザ」については街開きに合わせたオープンを前提に準備を進めている。また、ソフト面については、各種の社会実験やアンケートを通じて観光ニーズの分析を行い、事業効果を検証していきたい。墨田区観光協会とも一体的に連携を図り、多くの方に墨田区に来ていただくための新規事業を検討し、国際観光都市すみのだの実現に向かって邁進する。

### すみだの教育について

**問** ①統合新図書館について  
久保教育長に改めて伺う。  
区民の関心度も高い統合新図書館の計画がなされてから二年が経過しているが、開館スケジュールはどうなっているか。また、新図書館の基本理念をどのように具体化していくのか。

さらに、学校図書館との連携や支援、学校教育活動への参加の取り組みについて伺う。

**答** 開館スケジュールは京成東船駅前への再開発事業と大きく関係しており、当初は平成24年5月の引き渡しを予定していたが、土壌汚染対策の問題などにより10月まで伸びることになった。従って、引渡し後の準備期間を経て25年の2月から3月頃の開館を目指している。

### 統合新図書館の基本理念の具体化について

では、迅速なサービスの提供、効果的・効率的な資料管理のため、自動貸出機や自動出納庫などを導入し、今年度から図書等へのICタグ添付に取り組んでいる。また、情報センター機能としては、地域の歴史や文化写真等のデジタル化を実施し、その一部を図書館ホームページで公開できる予定である。

学校図書館との連携や支援については、学校図書館連携システムの早期導入やサポート強化をはじめ、ボランティアの育成、読書の動機づけに有効なブックトーク活動を通じて積極的に学校現場に参加させていく計画を立てている。新図書館は、このような機能を図りつつ墨田区の図書館ネットワークの中核機能を果たすものと考えている。

### ②図書館の運営方針について

ここ数年、本区の予算執行で図書情報システムの高機能化やネットワーク化が推進されており、業務の複雑化や専門性に加え、貸出しや予約数の急激な増加、レファレンスサービスの充実、物流機能、様々な情報発信など、多岐にわたる全般的に仕事の量が増えてゆく事が予想されるが、どのような総合的管理体制を築き、効率的に対応してゆくのか。

また、業務の一部が委託されているが、サービス向上と効率性の観点から委託の拡大や指定管理者制度の活用も検討される考えがあるのか。新図書館をきっかけに、本区図書館全体の運営方針について今後の考え方を伺う。

**答** 近年の図書館は、ICT化の進展とともに業務が複雑化・高度化しており、一方で、区民の図書館サービスに対する質的な要求水準も上昇している。これらに対応していくには、全館を一体的に運営していく仕組みづくりや職員の高い専門的能力を備えた組織とする必要がある。そのため、業務委託の一層の活用も含めた可能性を検討中である。

**問** ③図書館ホームページの充実について  
現在の区のホームページでは、図書館に辿り着くまでが非常に困難

な状況にある。墨田区の図書館行政をさらに進歩発展させ、区民に広く図書館に関する情報を提供するためにホームページの充実を提言したい。教育長のご所見を伺う。

### 教育環境の急速な変化への対応について

**問** 生きる力を育むという理念を実現するため、学習指導要領が改訂され小学生は来年度四月から、中学生は二十四年四月から全面実施となる。

本区では、今年度より教師一人に二台のパソコンを配付し、他のICT機器も導入して積極的にICT化が図られ、九月には墨田区における「土曜授業」についての考え方が示された。

さらに、文部科学省は三〇年より四〇入学期を見直し、小学一、二年生は来年度四月から三十五入学期となるという計画を明らかにした。

その他にも耐震改修の全校完了、校舎改築や統合新校舎の整備、統廃合計画の推進、特別支援学級教室の増設、新総合体育館の運営、設備の検証等々のハード面の整備、学力向上「新すみだプラン」の推進や、小二プログラム、中ギャップへの取り組み、心の教育などソフト面の充実も急務である。

これだけの急激な教育環境の変化や沢山の課題について、教育委員会は、相当な決意のもと、責任を持って教育行政を担っていかねばならない。久保教育長の責任ある、力強い答弁をお願いする。

**答** 一ご指摘のように様々な課題があるが、重要なことは改定の趣旨を踏まえ、より質の高い教育活動を展開できるようにすることが大事だ。また、土曜授業の実施は、単に時間数を確保するのではなく、区の施策や地域と関連させた授業や子ども心の教育に資する教育活動の展開を求めらるものである。校舎の耐震化や学校適正配置の問題もあるが、いま着手しているものは着実に進められている。必要に応じて見直しも検討している。いざいにして、教育委員会としての考えや方針を明確にし、学校現場とともに新しい墨田区の教育を構築していく考えである。

# 構想から行動へ!! すみだ自民党

両国4-7-10-403  
3632-7870



中村 光雄

### 『初志貫徹』

勇気ある発言、責任ある行動、確かな決断、初心を忘れず、皆様のために働くことを生甲斐に、全力で仕事に邁進します。

押上1-25-5  
3622-9570



西原 文隆

### 汗とまごころの政治

いま、"すみだ"は全国から注目されています。東京スカイツリーを起爆剤として、活気にあふれた街づくりのために全力で頑張ります。

墨田5-33-4  
3611-4003



瀧澤 良仁

### 子どもと高齢者の生活を守る

身近な子育てと高齢者の施策は区の仕事。生活の安定と安心を、区民が納得のいくまで追求しつづけてまいります。

あけましておめでとうございませう  
年賀状などの時候の挨拶状は、公職選挙法により禁止されておりまして、本紙をもって新年のご挨拶とさせていただきます。



八広1-39-17  
3616-7014



田中 邦友

### 夢と希望の持てる墨田区を!

墨田の再生のため、区民との協働を前提に"区民が主役の区政"をめざして、全力で取り組んでまいります。

八広4-11-19  
3616-5834



出羽 邦夫

### 混迷から精彩へ

政治に嘘・誤魔化しがあってはなりません。誰がやっても同じ。そんな政治不信を払拭し、いきいき輝かしい「すみだ」のため、がんばります。

本所2-9-5  
3624-8235



木内 清

### 『人心一新』

新タワー完成直前、重要な時。トップが代われば動きが増大。新行動・新活力・新墨田実現に全力で頑張ります。

向島3-18-10  
3626-2524



坂下 修

### 子育て支援、高齢者対策に全力を

いま緊急の課題は、子育て支援と高齢者対策です。そのために、全力を尽くして行財政改革に取り組んでまいります。

向島5-42-3  
3622-0010



山本 とおる

### 2011年は重要な年!

墨田区民の幸せを願って...今年もパワー全開で、大好きな"すみだ"と皆さんのために力いっぱい働きます!!

八広3-6-3  
3617-4129



樋口 敏郎

### 活力と笑顔のあふれる街

新年を迎え、希望に燃えていることと思います。皆様が"笑顔あふれて暮らせる、活力あるすみだの街"を目指して全力を尽くしてまいります。

江東橋1-8-7  
3631-1934



林 つねお

### アメニティすみだの実現

行動します!皆さんの願いを実現するために、区の情報を身近なものにし、意見を交わし、積み上げられる区政にします。教育福祉、環境、商工業の充実に。

京島1-39-1-918  
3616-1050



沖山 仁

### しっかりした政治を目指して

人口が25万人を達成しました。社会構成の変化をみながら、まちづくりの多様な課題に取り組めます。

## 編集後記

21年度の墨田区一般会計決算不認定という、区政始まって以来の重い決断もありましたが、この一年間わが会派は、皆様の温かいご支援により、区政運営に真剣に、全力で取り組むことができました。心から御礼を申し上げます。

本当に早いもので、来年4月には任期満了を迎えます。この間、会派として、一区議会議員として、それぞれの所属議員が責任をもって仕事をしてまいりました。引き続き、区政の発展、区民満足度の向上、そして皆様の幸せを実現するために頑張ります。

今後とも私どもにご意見を頂き、よろしくご指導を賜ります様お願い申し上げます。ありがとうございました。(山本とおる記)

菊川3-22-5  
3632-4130



あそう あきこ

### レッツ トライ! すみだ

生涯学習の充実、世界に誇れる国際都市の実現へ、少数意見の尊重、住み続けたいまち、共生社会の実現に向けて、今年も着実に取り組んでまいります。

業平4-5-16  
3625-8139



福田 はるみ

### スマイルすみだ みんなが笑顔でいられる街

「すみだに住んで良かった」と思えるまちを、区民の皆さんと一緒に造っていききたい、そう思います。力をおかしてください。